



2019年7月29日

各 位

会 社 名 藤倉コンポジット株式会社
代表者名 代表取締役社長 森田 健司
(コード番号5121 東証第1部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 植松 克夫
(TEL 03-3527-8111)

(訂正)「平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、2017年2月9日に開示いたしました「平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2019年7月22日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には____を付して表示しております。

以 上



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場会社名 藤倉ゴム工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5121 URL https://www.fujikurarubber.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 健司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 雑賀 隆明 (TEL) 03-3527-8111
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	22,318	△2.3	1,429	9.0	1,350	12.8	978	21.5
28年3月期第3四半期	22,848	4.2	1,311	23.5	1,197	△8.8	805	△33.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △416百万円 (— %) 28年3月期第3四半期 750百万円 (△37.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	41.82	—
28年3月期第3四半期	34.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	31,215	21,612	69.2
28年3月期	31,611	22,309	70.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 21,612百万円 28年3月期 22,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,700	3.6	1,500	△2.6	1,700	25.5	1,300	49.6	55.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	23,446,209株	28年3月期	23,446,209株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	49,103株	28年3月期	49,009株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	23,397,164株	28年3月期3Q	23,397,318株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善など緩やかな回復基調が続きました。しかし、中国をはじめとする新興国の景気減速、米国大統領選挙後の金融市場の大幅な変動など、世界経済の不確実性が強まり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、中期3ヵ年計画の最終年度として、積極的な営業活動、各事業・各市場のニーズに対応した新製品の開発、原価低減等についてより一層注力してまいりました。

こうした中で、当第3四半期連結累計期間の売上高は223億1千8百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益は14億2千9百万円（前年同四半期比9.0%増）、経常利益は13億5千万円（前年同四半期比12.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億7千8百万円（前年同四半期比21.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①産業用資材

工業用品部門は、国内において住宅関連製品の売上が増加したものの、海外において円高の影響および顧客の在庫調整等により自動車関連製品の売上が減少いたしました。制御機器部門は、液晶・半導体の製造に使用される機器の販売が好調に推移いたしました。電気材料部門は、電力・インフラ工事事用部材の受注が減少いたしました。

この結果、売上高は139億5千9百万円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益は11億1千6百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

②引布加工品

引布部門は、一部の自動車関連製品において、顧客の製造が海外に移管されたことにより受注が低迷いたしました。印刷材料部門は、国内において売上は前年並みとなったものの、輸出は為替の影響を受け売上が減少いたしました。加工品部門は、拡販に注力し、国内外において舶用品の受注が増加いたしました。品構成の変化により減益となりました。

この結果、売上高は36億6千3百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益は9千4百万円（前年同四半期比38.0%減）となりました。

③スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、ブランド強化に注力したことにより販売シェアが拡大し、さらに平成28年10月に発売した『Speeder EVOLUTION III』がプロツアーで人気を集め話題となったことで売上が増加いたしました。アウトドア用品部門は、広告宣伝活動に注力しましたが、登山靴等の販売が低迷いたしました。

この結果、売上高は44億3千2百万円（前年同四半期比7.6%減）、営業利益は5億6千8百万円（前年同四半期比44.1%増）となりました。

④その他

物流部門は、一部不採算取引を見直し売上は減少したものの、利益は前年並みを確保いたしました。

この結果、売上高は2億6千2百万円（前年同四半期比33.0%減）、営業利益は5千2百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億9千6百万円減少の312億1千5百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億円増加の96億2百万円となりました。純資産につきましては、216億1千2百万円となり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.6%から69.2%に低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,149,887	4,550,506
受取手形及び売掛金	8,564,098	8,892,086
商品及び製品	2,090,804	2,024,989
仕掛品	2,001,427	2,162,894
原材料及び貯蔵品	580,761	610,097
その他	896,353	780,312
貸倒引当金	△25,835	△26,480
流動資産合計	19,257,496	18,994,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,870,945	3,463,836
機械装置及び運搬具（純額）	2,423,755	2,223,099
土地	3,185,455	3,177,409
建設仮勘定	660,072	928,764
その他（純額）	380,456	397,774
有形固定資産合計	10,520,684	10,190,883
無形固定資産		
ソフトウェア	104,636	114,487
その他	269,178	226,570
無形固定資産合計	373,814	341,057
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,490,968	2,700,856
貸倒引当金	△1,031,018	△1,011,975
投資その他の資産合計	1,459,950	1,688,880
固定資産合計	12,354,449	12,220,822
資産合計	31,611,945	31,215,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,485,512	2,645,881
短期借入金	3,218,984	3,462,980
未払法人税等	110,933	94,713
賞与引当金	337,094	90,259
その他	1,356,765	1,470,236
流動負債合計	7,509,290	7,764,071
固定負債		
環境対策引当金	33,738	33,738
退職給付に係る負債	1,119,163	1,088,450
資産除去債務	20,800	20,800
その他	619,047	695,499
固定負債合計	1,792,749	1,838,488
負債合計	9,302,039	9,602,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,212,485	3,212,485
利益剰余金	14,276,463	14,974,059
自己株式	△20,167	△20,210
株主資本合計	21,273,079	21,970,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,896	419,854
繰延ヘッジ損益	△5,085	8,399
為替換算調整勘定	1,209,890	△432,343
退職給付に係る調整累計額	△408,875	△353,874
その他の包括利益累計額合計	1,036,826	△357,963
純資産合計	22,309,906	21,612,668
負債純資産合計	31,611,945	31,215,228

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	22,848,213	22,318,295
売上原価	<u>17,130,345</u>	<u>16,456,399</u>
売上総利益	<u>5,717,868</u>	<u>5,861,895</u>
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	328,498	380,847
給料及び手当	1,513,862	1,485,134
賞与引当金繰入額	24,850	24,583
退職給付費用	71,634	78,269
減価償却費	102,477	102,713
研究開発費	511,508	477,870
その他	1,853,115	1,882,722
販売費及び一般管理費合計	<u>4,405,948</u>	<u>4,432,142</u>
営業利益	<u>1,311,919</u>	<u>1,429,753</u>
営業外収益		
受取利息	14,212	11,325
受取配当金	43,109	41,331
為替差益	—	18,305
受取賃貸料	29,833	29,134
その他	88,985	62,852
営業外収益合計	<u>176,139</u>	<u>162,950</u>
営業外費用		
支払利息	16,279	15,249
為替差損	14,331	—
賃貸収入原価	10,051	11,107
貸倒引当金繰入額	<u>140,928</u>	<u>157,370</u>
その他	<u>109,056</u>	<u>58,019</u>
営業外費用合計	<u>290,647</u>	<u>241,747</u>
経常利益	<u>1,197,411</u>	<u>1,350,956</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>1,197,411</u>	<u>1,350,956</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>203,006</u>	<u>273,430</u>
法人税等調整額	<u>188,873</u>	<u>99,163</u>
法人税等合計	<u>391,879</u>	<u>372,594</u>
四半期純利益	<u>805,532</u>	<u>978,362</u>
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	<u>805,532</u>	<u>978,362</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,762	178,958
繰延ヘッジ損益	362	13,484
為替換算調整勘定	<u>△132,570</u>	<u>△1,642,234</u>
退職給付に係る調整額	<u>45,013</u>	<u>55,000</u>
その他の包括利益合計	<u>△55,431</u>	<u>△1,394,790</u>
四半期包括利益	<u>750,100</u>	<u>△416,428</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>750,100</u>	<u>△416,428</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	14,331,883	3,326,303	4,797,957	392,069	22,848,213	—	22,848,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	87,709	87,709	△87,709	—
計	14,331,883	3,326,303	4,797,957	479,779	22,935,923	△87,709	22,848,213
セグメント利益	<u>1,091,750</u>	151,825	394,704	52,087	<u>1,690,367</u>	△378,448	<u>1,311,919</u>

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去300千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△378,748千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	13,959,782	3,663,691	4,432,244	262,577	22,318,295	—	22,318,295
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	87,544	87,544	△87,544	—
計	13,959,782	3,663,691	4,432,244	350,121	22,405,839	△87,544	22,318,295
セグメント利益	<u>1,116,066</u>	94,192	568,698	52,007	<u>1,830,965</u>	△401,211	<u>1,429,753</u>

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去259千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△401,471千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。